翻刻 黒川文庫分類目録(三)

柴 田 光

彦

中断する。(後文付記参照) 一断する。(後文付記参照) を開の内訳は次のごとくである。なお本翻刻は今回を以て前号に引き続き、今回は「五」の後半を掲載する。全三十一

記録。七 <u>+</u> 服飾。 地理。二 伝記。三 随筆。四 技芸。八 索引。九 制度。十三 和文。廿六 詩文・歳時。 本草。三十 官職。 地方。 家書。 十八 遊戯・教育。 徳川。 辞書。 十四四 世一 漢籍。十 釈教。 廿七 十九 図譜。五 ・図画・墨本 類書。 武家。 語学。 十 五 術数。 廿八 廿四 <u>+</u> 歴史。 神祇。十 : 文

册概ね同寸)。

装丁、袋綴(上下に紙縒結び綴じ)。

版心、上魚尾、「黒川書斎」、単郭 一八·八×一三·二 50。料紙、二〇字詰、二〇行(片面一〇行)黒色枠原稿用紙。

もある。 あらためた。ただし一部本のまま、乃至漢字にしたもの印刷の都合上、適宜に処理したが、変体仮名は平仮名に印刷の都合上、適宜に処理したが、変体仮名は平仮名に

があるのみである。) (四・五は前回と異なり書店の照合印はごく僅かな鉛筆の レ 印、書入れについては左の如き符号によって区別を示した。

2. 照合の朱の筆頭印は ○ で示した。
 十. 朱書は ^ > を付した。

茶色紙表紙。半紙本、縦二五、横一七·三cm(全

表紙、

追図画・地図・好色本。

書名の頭に、朱の穂先(椎実)形印は で示

朱点は で示した。

3 4 書店の入れ、鉛筆・ペンともに 「 」 を付した。 【 】 を付し、必要により注記した。

印も 「 」 を付したのが、書店の鉛筆によ

る書入れである(四・五は「レ」のみ)。

丁付はないが、第一枚目より 」 () を付し、「一オ」 必要と思われる所は *()を以て注記した。

「一ウ」のごとく示した。

、便宜的に、書名の頭に漢字平数字で通し番号を付した。 抹消または削除した書名には、便宜的に前の番号に

を付けた。 *****注

欄外のものは、印刷の都合により 中に入れた。 をつけて本文

> 〔前号訂正〕 前号に左記のごとき誤りがあり訂正お詫び致します。

番号違

29ページ上段三行目、

四→五

(通番号修正)

50ページ上段三行目、

下段、 一七一取る。

伴直方写本

*脱落。

同

61ページ上段、六一三→六一一。*(最終番号) 5ページ下段、三七八→三七六。*以下二番ずつ繰り上げ。 可 下段、一七二→一七一。*以下一番ずつ繰り上げ。

(二) 書名誤植

29ページ上段四行目、鼇→旧

5ページ下段一行目、同使蒙→同便蒙 五・六行目、(書名の頭に) (を付す。

52ページ上段一三行目、公家→公卿

5ページ下段(書名)四行目、皇朝事園→皇朝事苑 53ページ上段一○行目、御陵取考→御陵所考

59ページ上段一一行目、古板→古板 58ページ下段(書名)一行目、續世継→續世續(マトン 57ページ上段(書名)一〇行目、全澤文→金澤文

歴史 (承前)]

承久記 あつまか、み仮名本 東鑑か、み脱漏仮名本

弘安記 北條時頼記 写本

北条時頼記 公武栄枯物語 一名承久物語

三浦記 建保草紙 藤原経房朝臣遺書

鎌倉実記

北条記 北條九代記 北條九代記 北条太平記

中山信名寫本

曽家物語 貞享版

± = ± ± ± = = = - + × - - -

霻

쯾

後鑑 欠本

흧 益 吉野拾遺 異本 芳野拾遺物語 貞享四年板

異本吉野拾遺物語 三人ほうし 蜀山旧蔵丹表紙

南山巡狩録 南巡逸史 朱書色川三中書入 南朝遺史

南山巡狩録 追加(文書)

難太平記

太平記系圖

太平記音義 活字本

廿五

太平記 寬永元年板

四十

太平記抄 作者不祥

参考太平記 元禄二年成

四十一

47 -

太平記 丙五六七八〈廿二〉点

曽我物語 大石寺本 そか物語 曾我物談

九世三三三

窑 〇	瓷 ○	奈 〇	袞○	会	奈 ○	会	<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>	奈 〇	棄○	棄 〇	窰 〇	窶 〇	臺	蓋	<u> </u>	窒 〇	室	蓉	三
南狩遺文	花さく松 真頼寫本	南山遺草大草公丽編	長慶院継統考證料	西征將軍宮事蹟考 真賴書人	南方記録	南朝紀傳	南朝紀傳	南木誌	南朝記傳	桜木物語 七巻合冊	残桜記 真賴書入	名和氏紀事	南朝編年紀略 青表紙〈附錄系図共〉	南朝底倉之記	南山要記 三巻合冊	元弘日記裏書	南山長松幹枝論 真賴稿本	南朝編年紀略 丹麦紙〈附録系図共〉	桜雲記 真賴書入本	桜雲記 春村校合本	浪合記 春村自筆寫本
		合册																			
六	-		<u> </u>		Ξ.	=		八	三 (四〇)	Ξ			四				_	Д	三 (三九)	Ξ	<u> </u>
			-4																		
兖	 全	交 〇	袞○		*	交	<u>交</u>	奈	<u>交</u>	<u> </u>	交	交	完	ぞ	空	交关	六七五	六七四	空	空	空〇
楠氏考	南山史	関西親王御事蹟検査記	行在或問		(五行空白)	南北朝分立の期日	南朝號 教育界臨時增刊	太平記〈寛永八年版〉	太平記要覧	本朝武家評林 系図付	南朝太平記〈寶永六年板〉	残桜記 前稿本	南北正閏問題の由来三上参次	南朝太平記〈写本(享保十年板)〉	太平記評判	御歌 たきのしら玉	嵯峨野の露	正平の御はらから	日 日	伊達行朝勤王事歴 *(以下別筆)	浪合記 校本
								〈合冊〉		T	合册			合册	in t					*	
	≡	_	<u>-</u>			_	_	+	八	五 十 一	七	_			四 十 四		_		_	Ξ	
				ー ウ <u>ニ</u>)						:	(四 オニ)									1	」 (四 ウO

±0元 ○ 春の夜のゆめ 十一	5○ 同志茶話 抄 一	+0+○ 南朝年代紀夏	10六 ○ 異本並合記 付信濃宮傅、並合記略、 一	+0至 ○ \ 浪合記 ष、沒合記附錄、	100 ○ / 浪合記	10□ ○ 波合記別書 一」	七0二 ○ 三人法師 一名三人懺悔冊子 一	七○ 正慶乱離志 紙背東福寺領文書付 一	+00 ○ 梅松論	○ 人底倉記	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	充○ 南朝帝紀畧	元七○ 雪寃録	○ (並合記畧 付、複合記抄	以 ○ / 浪合記	交五 ○ 波合記 真類校本 一」	○ \楠 正成	於 ○ / 兼好法師	完三 ○ 安見太平記 元禄二年板 一	充□○ 楠正儀降参考 跡部良顕 □	究 □○ 行在或問
三〇		= 五○	- 三六〇	世七 〇	<u> </u>	(四二) 三宝〇	七回〇	世三 〇	世三〇	1	0 0114	七九〇	七八〇	0 414	当本〇		七四〇	₩ ₩ ₩ ₩ ₩ ₩ ₩ ₩ ₩ ₩ ₩ ₩ ₩ ₩ ₩ ₩ ₩ ₩ ₩	₩ D = 1 = 1 = 0	+ = 0	0.014
公方両將記	足利持氏滅亡記	鎌倉大草紙	鎌倉大草紙	玉塵集 備中松山兵乱記	上杉憲実記 一名永享記	鎌倉大草紙 異本	鎌倉大草紙補闕三章	重編應仁記	室町日記【号:「畠山記二】*(抹消)	後太平記 古名残儀太平記	異本室町殿日記	室町殿日記 柑科長教撰	室町記 武家日記	三人ほうし 万治二年板	残桜記	松花僻案	應永記	應安記	細々要記 真頼校本	北朝要紀稿	楠木合戦注文 一名正慶乱離志
	- -		<u> </u>	_			——————————————————————————————————————	廿二」(四三)	四	#=	<u>+</u> <u>-</u>	七	六	=	=		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	一	· 三	_	

	北畠物語 元禄七年板	七七四	四」(四五)	北越軍記	臺〇
	北陸七國志 本名北國全太平記	받	八	那須記	蓋
	\ 豊太閤土佐侍従元親 ^ 御成献立	##!! 	七	上州治乱記	蓋 〇
	、豊太閤、関白秀次〈御成献立) . Hitti	+	北條五代記	善
	越後軍記 元禄十五年版	144	十五.	淺井三代記	三
	州 朝倉記(越州軍記)	Orth	五.	甲越五戦記考正	 一
	續撰清正記 七巻合冊	长九	二十	武田三代軍記	卓 〇
	朝鮮物語 大河内秀元 嘉永二年版	尧	·	小田原記 南畝蔵印アリ	三 〇
	大閤記八物語	七六七	堂	甲陽軍鑑	靈
	室町殿日記〈楢村長教 一名室町殿物語〉	芸六	十九	関東古戦録 欠本(従一至十)	
	豊太閤征韓秘録	七六五	三二(四四)	北條盛衰記 永享記	薑 〇
	朝倉始末記 *(以下別筆)	芸品 〇	7 9	東乱記 一名北條記	画〇
	千葉傅考記	き 〇	=	加越闘争記 原本	三三
<u>+</u>	織田軍記 一名總見記	芝 〇	=	仙道軍記	() ()
	織田記 巻一欠	差 ○	九	鎌倉物語	売 ○
	織田弾正記	충 ()	五	関八州古戦録	 ∈ ○
	北越家書	 至	四十一	西 陰徳太平記	= ○
	松隣夜話	奏 〇	四十	中古日本治乱記	美〇
	土佐土産 長宗我部盛衰記	華 〇	<u>=</u>	續太平記 貞享板	壹 ○
	室町殿物語〈一名室町殿日記〉室町殿物語〈楢村長教寶永三年板〉	蓋 〇	Ξ	鎌倉九代記 欠本	三三
	信長公記	蓋〇	八」(四四)	鎌倉公方九代記	
	謙信春日山日記 謙信一代記	蓋〇		鎌倉大双紙脱漏	

装 (差 ○	売 ○	≦ ○	<u></u> 三〇	売○	范○	둧 ○	た 〇	を〇	芸 〇	芸 〇	益○	き 〇	汽	汽	夫0	七七九	夫	444	七七六	七七五
信長記《貴久御軍記』、義久御軍記』、》、*欄外	嶋津家譜 毎先祖之記一、氏久御軍記、忠富御代記一、〉嶋津家譜 御先祖之記一、従二道鑒二五代記二、氏久	九州記(御賞家由来一、御営家由来之記一、鳴事	元就軍記	新編東太平記	天正記	蒲生軍記 一時軒惟中著	備前軍記 土肥経平著	北畠物語	土佐物語	江就記 松岡重正著	南海治乱記 宽元三年	西国太平記 寛文元年	四国軍記〈本名土佐軍記〉 *(以下元筆)	信長記 寬永元年版	甲越戦争記	北國太平記	西國盛衰記 宝永八年版	那須記 活字	将軍記 鎌倉将軍記、豊臣秀吉記〈寛文四年板〉	甲陽軍艦辨疑	和州諸将軍傅〈(箭井、松永)〉
+	+	九	五	十 (四	九	六	Ξ	Ξ	+	<u> </u>	九	+	四	八 (四	Ξ	十 五	十七		十六	Ξ	± =
				才七										ウガ							
○ 大閣軍記	八七 〇 大坂物語 珎本 上巻古板下巻享保板	八六○ 大坂物語 珎本寬文十二年板 *(八五〇 聚楽物語 (一名関白物語)	△四○ 大坂物語闕本 珠本	八三 〇 藤堂記	八三 〇 重編小松軍志	八一〇 〔菅利家卿〕語話〈白蟻喰了〉	八10 〇 義光物語 一名最上記	公○ 石田軍記	八〇八〇レ美濃国諸舊記	八〇七 〇 朝倉軍記 朝倉家記録之目録一冊	八〇八 〇レ朝鮮征伐記 大関定祐撰	八〇五 〇 征韓録 島津久通撰寫本	八〇四 〇レ川角太閤記 内残刻本二冊添真頼校	○○ 朝鮮征伐記	○○ ○ レ 征韓偉略	八〇一〇レゑ 太閤記 横本	人00 ○ 筑紫軍記	売 ○レ清正記 古寫大本	式○ 東國太平記〈上杉景勝記〉	元 ○ 太閤記
<u>ጦ</u>	*(搜入)	*(「四」ヲ訂正)	Ξ	_	Ξ	三」(四八)	*朱引		+ =	六 ·	+	十三	六	七	Ξ.	五」(四七)		十六	Ξ	十八	+

○ ○ レ鎌倉物語 ○ 一 淺井日記	○ ○ レ小田原記	○三○レ奥刕仙道表鑑	○ ○ 小田原記 一名関東兵乱記、相州兵乱記、	○ ○ レ毛利秀元記	○ ○ レ足利治乱記	△三○レ合戦傅〈武田氏、巻一、二、欠 附録二、〉	△三 ○レ足利治乱記 真頼書入本	○○ ○ レ佐野宗綱記 □云唐澤城老談記	△三○○レ坂東通志 足利政勝記	△元 ○レ東国戦記	△元 ○ 會津四家合考	△〒○レ朝鮮征伐始末記	△六 ○レ井樓纂聞 大友鑑連事蹟	△壹 ○レ江源武鑑 欠率	△四 ○ 近世軍記 上杉家事蹟	△三 ○ 清正記 寛文三年板	△三○豊(太閤)畧記(朱ミセケチ)	△三 ○ 新撰豊臣実録	△10 ○ 秀頼事記 一名豊内記	△元 ○ 豊臣記
四二	=	<u>=</u>	六	五.		七」(四九)		五	六	=	<u>+</u> =	五	五	五	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	五」(四八)		<u>+</u> =	五	Ξ
八二 ○レ里見軍記 八二 ○レ祖父物語 校本 小名清須老翁物語		○元 ○ レ 管部 小田軍記	△兲 ○レ鎌倉九代將軍略記	〜 早 ○ レ近代戦闘年表	〜 ○ レ三季物語	△	△ 一 一	△	至 ○ 飛弾國治亂記	会 ○ 伊勢軍記	八五○○福山看支記 一名松前舊事記、	分児 ○ 諸家栄枯録	○ 沼田記	△ 九戸記 山崎美成本	△四○レ取上記〈一名家上義光物語〉	△ 四古記 伴信友校本	☆留 ○レ嶋津記	△ <	八四 ○ 佐々軍記 菊地佐々傅記	□□□↓鎌倉物語
<u> </u>	_	=		-		_	- →	二 (五0)				_		-		_	_	一」(四九)	_	-

△ ○ 備中兵乱記	介一○ 淺井物語	☆○ 小田軍記	へ	へ方 ○レ昔日北花録 富樫家	へも のゆけものかたり 伴信交本	☆ ○レ関東兵戦記	☆芸 ○レ蒲生氏郷記	〇	☆ ○レ 細川政元記	〇 /宮地論	☆三 ○レ水谷先祖書	☆三○レ宿直物語	仝 ○ 平嶋記	へも○ 石住道心物語 ―名沼田龍雲合戦物語	○ 「 旅宿問答	△ 穴 ○ 宗像軍記	へ空 ○レ太田道灌自記 校本	☆ ○レ應仁別記	☆会 ○レ二木豊後寿斉聞書	八四〇 照雲寺殿筆記 小川新九郎長保手記	八三 ○レ 武家日記 校本 一人三 ○レ 武家日記 一名清須老翁物語	
		_		=	_		_					_	_	_	.—	_	-	_				
九四 ○ 傅疑小史	九0三〇 細川家年譜	九0二 ○レ鎌倉九代後記	九○○ 小畠家記	九00 ○ 清正高麗陣覚書 下川兵大夫	八克 ○ 小笠原歴代記	○ 文正記	八宅 ○ 小田天菴記	☆ ○レ新田軍記補送	八五 ○ 持氏記 真頼曹入本	八四 (謙信記 物里恭自筆写本	八空 ○レ関民部少輔書留	△ 東野遺史	允○ 上刕坪弓老談記	八九○○ 房総古諦録 一名里見九代記	八元○ 理慶尼の記	八八○ 房総軍記	公○ 東奥軍旗	△○レ天正記	○ 及林寺傅記 長尾昌賢影像記	△□レ大塔物語	☆三○レ勢陽軍記	
_			一 (五 ウ <u>五</u>	_	_	_	_	_	_		_	Ξ	三二年	<u> </u>	_	_	Ξ	_	_	_	_	

=		新編松岡地理志 関東諸家記	た ○	_) 正宗軍記	九 二 二 二 二
		大和軍記	九二○	_) 佐竹家譜	九〇 〇
		諸家由緒書 蒲生其外	売 ○	_	附追考	○レ南向茶話	売
_	:	今川記	200		門合戦記	〇 朝鮮南大門合戦記	尧 (
=		伊勢軍記	九七九	_		〇 二川物語	売宅 〇
_		鎮西軍記	売 で	_	記	○レ新田正傳記	売
		松陰私語	九七〇	_	大河内秀元物語	○レ朝鮮物語	九芸 〇
		細川忠奥記	九六 〇) 新田軍記	売
		館林城主記	九七五	_	一云赤松續傳記) 赤松物語	売 ○
_		勢州軍記	九七四〇	二二(五五)	傳記) 赤松氏続傳記	<u> </u>
		賤嶽合戦記	九三 〇	→) 小松物語	
		上州金山軍記	2三〇		車物語 营谷傅記、付城記、房総軍記、) 小弓御所軍物語	塩〇 〇
		水野記	卆 ○		記) 佐野宗綱記	- 発
·		穴太記	2000		郡常山軍記) 備前兒嶋郡常山	-
-		水谷蟠龍記	九 〇		集	○ \ 湘山星移集	\cap
_	*(朱点消)	「朝 新田日記」〈長楽寺殘篇〉	炎 〇			□富麓記	型 〇
-		水谷記	空) / 難太平記	
_		斎藤記	九六 〇		記) 南部根元記	九四六()
_		細川勝元記	九会	_	最 亿)兼山軍日記	九翌 〇
		1吉川記)	一一(五五	太田家記	御家記	売쯾 ()
		東源軍記	<u>九</u>	Ξ		東源軍記	造 二 〇
一」(五六)		上野国舊事問答 真賴著	<u> </u>	_	太閤始終記 豊富盛衰記、豊臣記、付	-	造二 ()

1000 〇 祖看記	○ 人太閤御籏記	100 ○	1001○ 慶長勢刕兵乱記	1001 〇 歴代將軍畧譜〈碣嘉樹〉	一000 ○ 里見九代記	売○ 上州館林地城由来記	九○ 和賀一揆之記 山崎美成本	売 売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売<th>九六〇 太田家実録記</th><th>売会 ○ 川中嶋合戦記 *(朱抹消)</th><th>〈宮州可中嶋五ヶ葉合敞之次第〉 ・ 黒田孫左ヱ門聞書</th><th>九三 ○ 加藤家傅 森本儀大夫一友筆記</th><th><u> </u></th><th>九○ 義昭記畧</th><th>売○ 肥後隈本戦記</th><th>☆ ○ 田辺城合戦記</th><th>六八○ 大友公御家覚書 又續本</th><th>九七○ 鎌倉物語</th><th>た六 ○ レ清正記 木村又蔵筆</th><th>九五</th><th>☆ ○ 管領以下人数之事</th>	九六〇 太田家実録記	売会 ○ 川中嶋合戦記 *(朱抹消)	〈宮州可中嶋五ヶ葉合敞之次第〉 ・ 黒田孫左ヱ門聞書	九三 ○ 加藤家傅 森本儀大夫一友筆記	<u> </u>	九○ 義昭記畧	売○ 肥後隈本戦記	☆ ○ 田辺城合戦記	六八○ 大友公御家覚書 又續本	九七○ 鎌倉物語	た六 ○ レ清正記 木村又蔵筆	九五	☆ ○ 管領以下人数之事
-	-		こ (五八)						_			=	一(五七)	_	_			三	_		
0 置	0 国			101111 0	10111 0	10110	10元	10尺 〇	U 4 O	101六〇		1012	101111	 	 0 0	1010 0	10名 ()	 	1004 0	 100名 O	000元
越後一揆次第	房総軍記	、福島正則滅亡記	、豊臣秀吉出生記	大和記	秋元家譜	三州一向宗乱記	村井勘十郎覚書 普利家卿夜話	北越耆談〈上杉家〉	東國戦記	波多野家記	嘉吉軍記 又嘉吉記、又赤松記、	伊賀衆發起	葛俣記 又小幡記、小畠記、	天正軍功記 永井軍秘録	南総酒井傳記	弘前永禄日記	土岐斉藤由来記	石山退去記	鳥居家記	榊原康政記	館林記
	Ξ		-		一 (五九	=		_				_	_	→	- 二 (五n ウボ		.			_	

一0哭	一0四五	0回日	0国	0国	1001	0国0	一0完			10岸 〇.	- 		0篇 ○レ		1011111	101111	101110	0 元 ○	0元	0年01	· 一01 〇	
妙善寺合戦記(写)	箱根山中城青由来 (写)	理慶屋真跡〈石版〉	レ 石田三成 (活)	レ高麗陣日記 元禄十五年板	レ元親記〈写〉	鎌倉後録〈写〉	深谷記	(おきくものかたり	(おあんものかたり	○レ豊臣太閤秀吉公御葬礼御行列書(陸奥國河沼郡塔寺村八幡宮長帳	陸奥國河沼郡塔寺村八幡宮長帳	レ妙法寺記 番村校本	神木入洛記 *(以下別筆)	光源院殿御代当参衆豆軽以下覚	大内家物語 大内義隆驕奢記	北条家萬関書	阿州將裔記 新居正直校本	反町大膳訴状	長元記〈一名長元物語〉	伊達忠不忠記	
→			· —	四	Ξ	=	1 (六0)	-		(細横小本)	. —	_		_	_		一」(五九)		_		Ξ,	
	一〇名	一条	一〇公五	- 0公园	- 	_ 옷 _	- 옷	10公	一0穀	一一	-0至七	- 0 吴	一〇五五	10年四	— () () ()		 	一0至0	一0四九	一0000	一〇四七	
北越太平記(北越軍記)五ノ上中二巻欠	明智軍記 元禄十五年版	九州記 元禄十三年版	上杉記 三四五六 人名	房総里見誌〈写〉 十巻合冊	長水合戦記〈写〉	肥陽軍記〈写〉	朝鮮軍記大全 宝水二年板	古郷物語〈写〉	奥陽軍秘録〈写〉	家庄越軍記 〈写〉	奥羽戰記〈写〉	萬松院殿穴太記 寬文二年板	南部根元記〈写〉	土佐軍記〈写〉	能州末守軍記〈写〉	新田正傳或問〈写〉	福嶋左衛門大夫正則殿廣嶋落墟覚書〈写〉	應仁記 同 上下合册	明徳記 同 上中下合冊	承久記 寛永九年版 上下合冊	レ實録日記〈写〉 大田家	
豊	+ Ξ	十九	=	五.	_	, =	十九	Ξ	=	Ξ	Ξ	=	=	_	_	_	写〉一	_	- -	_	_	
									(六 オー										(六0)			

		10公七	一0公六	一0公五	一0公园	- 会	<u> </u>	- 옷	-		一0七九	-05	1044	04六	10岩	0七回	11140	10411	1.40	040	一0六九
	*(一行空白)	備後守様大坂御人数組頭覚	中國太平記	毛利秀元之記	丹波家一乱記	三好軍記〈寛文三年板〉	慈光寺本承久記	大友家記	(奥州葛西記	/ 葛西家由緒	佐々木軍記 明和九年版	奥平家傳記	細川忠興年譜	謙信家記 號三帥戦略	岡島假名家譜 一元傳	川中島合戦辨	大納言記	春日山日記 写	三壷聞書写	甲亂記 正保三年版寫	越國内輪弓箭老師物語 写
				上中下合			上下合				十五巻也							合冊	合冊	上下合	
L		_	<u>+</u>	_	_	=	_			_	二十」(六二	_	_	_	_		_	九	八	_	
(六 ウニ)											(六 オニ)										ウニ
三	三	[]우 ()	옷 ()			110110	11011 (1101 0	1100 0	0 元	2200	発	2 0	0装	0 温	発 〇		完 ()	10元0 ()	10分 ()	0公
続日本		皇年代略	世々樞覧		重修結				應徳元						○レ應仁武鑑 三編揃)異本嘉吉記		○レ関東管領記		
続日本王代一覧後記	日本王代一覧	略	他覧	王代一覧餘編	NE代 二	一代要記 知雄校本交レリ	帝王御次第	讃岐国大日記	九年皇代	皇年代略記 至安永	帝王編年記 欠本	帝王編年記 校合本	皇代暦 一名歴代皇記	帝王編年記 欠本	氏鑑 三編	茂久弥六物語書	新吉記	田野亂勺	官領記	土岐家傅記	藤堂高虎記
覧後記	寛文板			佐野郷成	重修続王代一覧 栗原柳庵	校本交レリ			應徳元年皇代記 又名編年残算	安文永禄	本	合本	2皇記 大本	本	抲	書〈自筆本〉		甲陽田野亂勺義帳秘巻			*(以下元筆)
									Ans												
二	七		<u>+</u> <u>-</u>		+	十		_		_	八	+ =	Ξ	=	七	_	_	_		_	
		」 (芸)																			

		三元〇	三三〇	三 三 三 〇	三美〇	三						三九〇	三, 〇,	 O	三 三 三 〇	<u>=</u>				=	0 0111
續國史實録	國史実録	本朝通鑑提要	國史評林	続国史畧	日本政記	國史畧	國史紀事本末	皇朝史略 青山延干著	本朝通紀	神明鏡	王代記 間写本文禄年	神明鏡	弘道館記述義	政記論文	蒙史稽疑備考	正統録 古寫本大本	神皇正統録	歴代皇紀 和学講談所本	校正王代一覧	續日本王代一覧 後記付	日本王代記
缺本 二十	八	八	八	五(六四)	十六	五.	三十		十五	=		_	=		Ξ	四	四	五	四	+	<u></u>
- L		_	_	始)	_			_	_	_		_	_	(六四)	· -		_		<u>.</u>	_	_
薑 ○	<u>三</u>	<u>=</u>	善		一門	型〇	三	翌〇							三三〇	\(\bar{\bar{\bar{\bar{\bar{\bar{\bar{		· 三			
将軍御家譜	本朝中興将軍略記	編年紀略	東京即史略	版史略	寺 皇國新史 *(以下別筆)	日本歴史	本稿 國史眼	國史通解	続々皇朝史畧	帝國史	國史要略	小學歷史	國史學のしをり	國史按	続皇朝史略	皇朝史略	新撰日本史略	皇朝史略	日本歴史綱目	大八洲史	史略考證
_	_	_		=	_	1111 (七	Ξ	七	_	四	Ξ	_	+	五	_	+ -		_	二	
						ウェ	ŗ							•		オガ	<u>į</u>				

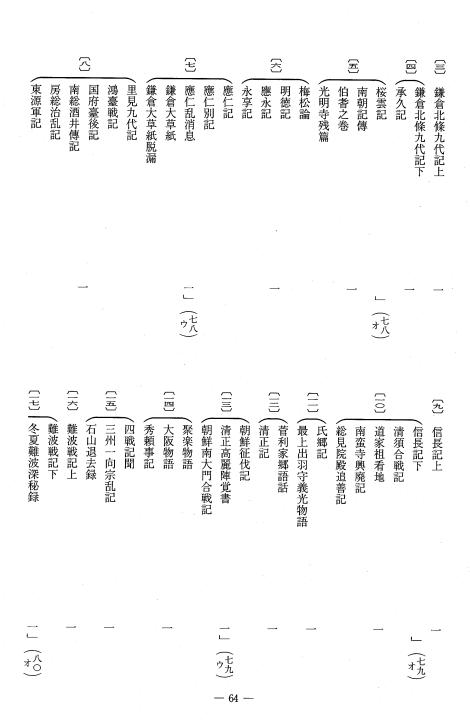
二 (六八)	雨窓紀聞	七) 二盎〇	」(六七)	*(三行空白)	*
	常野紀聞			古墳と上代文化	二岩
Ξ.	近世観聞録	二九二〇		考古学 高橋健自	二当
Ξ.	近世史略	三九		日本外史抄	士士
≡	近世史畧	二九〇	_	國史教科書参照圖 辻善之助	三七
<u>→</u>	日本外史摘解	二八九〇	_	日本歴史	1140
	國史略辨謬	二仌〇		にほんれきし三上参次	二
_	日本外史字引	二名〇	_	重訂日本外史	二交
Ξ.	明治治革史	(六六) 二条 〇	七」 (六	外史補	二宅
七	十三朝紀聞	二会〇	六	平安史	二
十三(六八)	校刻日本外史 真頼書入本	二益〇	四	日本外史字類大全	二
五	皇朝小史		_	古戦場概圖	二
四	日本歴史略		=	日本外史字類大全	三
	歴史略		Ξ	日本政記字類大全	三
	國のすがは	<u> </u>		高等中学國史 附圖派	三
=	日本通鑑	二芜〇	_	國史案 洋裝本	三杏
<u> </u> .	考古日本	二克〇	_	國史名構讀例	二
	日本文明史略	三七〇	=	日本考古学 八木奘三郎	三
	國史通解	(松) 三美〇	1 _ (_1	國史案 洋綴本	二亳
五一	歴史通覧 *(以下元筆)	11 宝 〇		関東将軍次第并執権記	三
(六七)				鎌倉大日記 一名家傳大日記	三
	*(半丁白紙)			續皇年代略記	三蓋

三二史館茗話	三0 皇朝詠史	一二0九 讀史餘論	三0个〇 本朝武家評林	104 六雄八将論	三0~○ 河中島合戰辨論	○【河中島合戰	○ / 桶狭間合戰 (朱)	三金 〇 古戰評判	三0四〇 丙丁炯戒續録	□□□○ 丙丁炯戒録 *(以下別筆)		*(半丁白紙)	*(二行空白)	二〇二 松廼落葉 一名東台戦記	三0 日本開化之性質		二充 西南戦闘日注弁附録	二夬 〇 近古史要	二之 〇 教育 日本通史 再考本	二类 〇 西南戰闘日注	一 会 ○ 明治敕詔 *(以下別筆)
_	一」(七〇)	=	六				*(朱消) 「一一	*(「二」ヲ朱訂) 二		=	」(六九)		」(六九)	- -				Ξ	<u> </u>		· ·
□□○○ 皇和真俗通	三元 ○ 日本通史 黒川真頼著	□三八○松の藤靡 定慧和尚傳	三三〇 読史餘論	三三〇 古史通	三三 新論	三一 六雄八將論	〇 【読史論略】 漢籍ニ入ル *(墨引抹消)	□□□○大勢三轉考	三三 〇 大統歌俗解	三二 〇 日本外史補編 活字本	三二〇〇 日本政記儒蒙	三元〇 皇朝史畧摘註	三八〇 讀史餘論	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	三六〇外史箚記 *(以後元筆)		*(五行空白)	三 古老軍物語	二四 中興鑑吉	三三 七武	三 新武者物語
欠本 二十	_		Ξ	四			消) 一」(オ)	Ξ		四	Ξ'	Ξ	六	·. —	- -	_ (tC)		五			八

二 (ウ)	桑華糸年	=======================================	-	プログラネ和記	=======================================
	- No. 14. 17. 17. 17. 17. 17. 17. 17. 17. 17. 17		-	フロスロン海川	
	六運圖畧			寛正年代記 掖齋本写	三三三
_	暦朝崩日記考		=	重撰倭漢皇統編年合運圖(慶長活字本)	三喜〇
<u> </u>	元秘別録 改元勘文部類	三克〇	Ξ	和漢合運圖 〈正保二年版〉	三晃
	改元部類	三	_	【慶長】年代記写本 *(朱消)	三 一 一 一 一
_	延宝九年外記文	三至〇	四	〈意於〉	三型〇
-	延宝九年辛酉勘文	三类〇		武家年代記	三
	元 秘抄	三会	→	年代【珍事留】延宝中記 *(朱消)	三豐〇
	三合勘文部類	三〇	一	本朝年代即鑑	
→	改元烏兎記	三〇	_	歴代帝王世統譜略	
」 (七三)	、内侍所渡御次第			亨禄ョリ慶安二年迄年代記	
_	徃代希有記	三三〇		長亨天正年間略表	
	、三合災厄勘文	0/		眼察年代記	
→ .	享和改元勘文	三三〇	五	和漢年代記	三元
	逸號年表 春村書人本	言る〇	+	本朝年代記	三長〇
	偽年號考	三素	_	四裔編年表	三量〇
_	元号秘鈔			本朝編年小史	三美〇
<u></u>	國史畧便蒙字訓	三毫〇	六	西南征討志	三量
= 1	_{庄原和} 同纂外史譯語 大森惟中 同纂外史譯語	三奏〇	こ (七二)	西南征討志附圖	
	本朝年鑑	三		続近世日本外史	
二二 (七三)	史論 安積艮斎著	三蓋	_	和漢年契 黄表紙	
Ξ	國史畧字類	三臺	五.	【掌中日本記】 (朱抹消) 《新撰本朝年代記大蔵繪抄》	

- 62 **-**

二五四	三	三	丟	三九0	三公	三六	三之	三	三	三益	<u> </u>	Ξ	<u> </u>	등 (三芜〇	美〇		三美〇	三芸		三三	
倭漢合運指掌圖〈元禄七年版〉	御諡號年號讀例	御諡號年號讀例問答	日本外史評	南白遺稿 江藤新平	日本讀史年表	御諡號年號讀例	國史便覧	撰 東西年表	新撰年表 栗色表紙	新撰年表 青表紙	新撰年表 真賴本	本朝改元考	和漢年契 茶表紙	紀元彙 活字本 *(以下別筆)	續日本長暦	日本長暦 保井春海	二止綜覧	至天和 年表 薨卒年表自仁和 年表 薨卒年表	倭漢帝王年表	中古年表 栗原柳庵自筆本	倭蘭年表 活字本	
<u>ग्र</u>	_	一」(七四)	=	_	-	_	_		_	. —		一」(七四)		_	_	=	=	_	≡			
〔三〕 假名東鑑	(平家物語	保元物語	「二」奥州後三年記	(純友 東西軍記	三〇四 日本歴史文庫〈真道編輯〉		*(半丁白紙)	*(五行空白)	三〇三〇 地震雑記 嘉永七年	□□□□□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	三0 〇 安政乙夘江戸地震記	三00 ○ 本朝地震録 富田永世	三元 〇 東京天変地變		*(一丁白紙)	*(半丁白紙)	*(四行空白)	三元。國史研究年表	三元	三类 國史大辞典挿繪 及 年表	二九五 鶏鳴雑記 明治三年黒木茂矩日記	
1		-				」 (ウt)	(1111)	」 (七七)				_		」(七七ウ)		」 (ウ <u>ま</u>)			_	-		



등 *(六行空白) 赤穂義臣傳 関難問記 由井正雪記 村越道伴物語留書

史稿 繪上成徳 檜山坦齋稿本

至廿二年

至十九年

至 工 年 年 年 至八年 自延長元年

四百卅三

*(半丁白紙) *(九行空白) 훒

史料通信叢誌

芃 某 某 붗 大 老 共

至四年 至自 至自 至自 至自 至 長 徳 一 年 年 年 年 至自 至 自 三 年 至 四 年 年 元 年 至自長保元年 至二年 至三年五年 至三年和元年 至自 至自 三康 年 年 元 年 元 年 至自至自至自至自至原本年间, 在一年的一年的 至年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年

オ四

- 65 ---

至 自天暦三年

至自 至自 至自 二天 九同 三天 年同 年曆 年四 年慶 年三 元 年 元 年

至至至至年世世世世世世世世世世世世世世世世世世

オ五

ウ四

(八六)

(八 ウ<u>五</u>

(八七)

ウ八

オ八

ウカ

オカ

ウロ

九十〇

九二

(九 オニ

(九四)

ウニ

オミ

(九五)

の九四

九六

(九七)

(九六)

力が、

ウカカ

オカ

> (O-70)

晋上

置 置

置上

置 置

晋 =

三百九十六

(三 ウ ウ ()

(index)

戸

*(七行空白

目録

至自至自至自至自之下。 至自至二方至之下。 至二方至之下。 至二方至之下。 至二方至之, 至二方之。 三二方之。 三二方一。 三一二

五分

七十冊 (四つ)

弄 丟 丟 丟 丟 声 〒 元 天 云 天 盂 云 三 三 三 〒 元 大 七 共 盂

> (六-オO)

五一ウ〇

兲	五十七	至大	五十五	至四	五十三	季三	至	秊	四十九	哭	四十七	四十六	四十五	四十四	四十三	四十二	罕一	罕	三十九	兲	
天正十五年	天正十四年	天正十三年	天正十二年	天正十一年	天正十年	天正九年	天正八年	天正七年	天正六年	至天正五年	至天正三年	天正元年	至元亀三年	永禄十一年十二年	永禄十年	永禄九年	永禄八年	永禄七年	永禄五年	永禄四年	永禄三年
し (一つ)							_			して(一つ)										_ (六ウ)	
*	£ī.	175	± = 1	=		目録	三0八) 史稿 東海東山両道		*(八行空白)	丰业	六十九	交	六十七	六 十六	六十五		六 士三	卒 士	卒	卒	五十九
至七年四年	至三年自永禄元年	至弘治末自天文廿一年	至二十年 自天文十六年	至享禄四年自大永元年	至建武四年季焦二年自延元二年 四年					列侯年表	元和後	至慶長十九年	至慶長十五年	至慶長六年	至慶長元年自慶長元年	文禄	天正十九年	天正十八年 宮七月	天正十八年 宜六月	天正十七年	天正十六年
						-	七十冊・(ハウ)	(J.º)			7	L (JO)									

三 *(半丁白紙) *(一行空白) 兀 七 目録 至自至自大正年 自 至自永 在 年 十 年 年 年 至自至自 延元弘三 年 年 至三年自元亀元年 至十二月 自天正十年七月 廿四 九一オ〇 ==0 * (四行空白) 史稿 (半丁白紙 目録 中 至慶長又近代迄 自天正十六年以後 至十五年 自天正十三年 至九年 自天正四年 至六月 至六月 至六月 至六月 三十二年 至三年 定元年 至四月 五月

77 -

史稿 ·(二)行空白) 五 圭 主 + 主 눒 目録 関東 至 自同正四五六年 年 十五 <u>=</u>-끄디 史稿 (半丁白紙) ·(三行空白) 史稿 77 깯 (三行空白) 畫 岦 目 目録 西國 四 録 至其 计三年 應安元 至其 古工 二年 應安元 五年 以後 廿五 五 四十十 四一ウー

五ウ

<u>五</u>ー オー

記

本目録の紹介は今回の「三」を以て終りとする。

資格を失うことになる。 度は提出資格があるが、再来年には在籍していないので、提出 あり、刊行は翌年度中というのが規制となっているので、本年 たところ、此の種の申請は前年度に提出して決めて置くもので 術委員である町田栄教授を通して、その可否について尋ねてみ 月を以て定年退職となるので、念のために本年度の本学科の学 版助成金の申請をと思っていたが、私は明年度、平成十三年三 えて、改めて全三十一冊の刊行を行う予定であった。またその つもりで索引入力を行って来ていた。そして明年度に本学の出 当初の計画では次号まで継続し、それ以後、此の翻刻をふま

えで、前著の大惣本目録を手がけてくれた青裳堂の後藤憲二氏 受ける出版社は殆ど皆無に近く、到底不可能である。また出願 や薄氷を踏む思いで半ば諦め断念していた。 度の出版助成を申請した。本年は出願者多いと漏れ聞き、もは に了解を求め、まずともかくも本文だけでもと思い、急遽明年 期日もすでに旬日に迫っていたので、索引は別冊にしてとの考 しかし、この種の出版は費用が嵩み、助成金なくしては引き

縁有って本学に勤務して十七年、その掉尾をこの『黒川文庫分 ところが、はからずももこの度助成金を得ることになった。

> **頴学長、** 助成金制度の賜物であり、殊に学術委員の諸賢ならびに山崎一 類目録』(仮題)の刊行で終ることになり得たことは、学園の 関係者の格別の配慮によるものと感激一入のものがあ

の箇所の調査も自分の知り得た範囲について現段階ではほぼ終 また幸いにも、公的機関で黒川本を現に所蔵し、目録未発表 何よりも有難く嬉しく思う次第である。

と組み方を工夫すれば、あるいは一冊に収まるかもしれない。 (大惣本目録は索引を別冊にした。) ではあるが、所蔵の略記号のみにし、請求記号は省略するなど 了することが出来、索引入力も既に完成している。今後の課題

専務にはただただ深甚の謝意を申し上げるばかりであり、 に完璧とはいえないながらも責任を果たしえたことを自らの喜 本資料を提供してくださった一誠堂の酒井宇吉社長・同健彦 同時

平成十二年二月追記

びと思うこの頃である。